



庶民の会
はやしだ つとむ
林田 勉 議員

「市営住宅の管理は十分か」 住民も協力を！」

Q 市営住宅の数や入居状況など、現在の市営住宅の状況は？

A 令和3、4年度で3団地を解体した。現在は16団地、管理戸数897戸で730戸に入居されている。1戸当たり最大床面積は113平米、最小は52平米。入居者の要件で違うが家賃の最高が7万8700円、最低が7000円/月である。

Q 多様化する入居者、苦情や状況、入居時の条件は？

A 昨年の苦情は346件で住宅の不具合が316件、入居者間トラブルが24件、動物の苦情が6件である。犬、猫などペットの飼育は禁止事項で誓約書もらっている。動物飼育の情報があつた場合、その都度指導している。

Q だんだん厳しくなる市の予算、せめて団地内の除草・低木の整備など住民の協力で整備できないのか？

A 除草等は定期的に実施してもらっている。管理組合はないが住宅ごとに管理人を配置しており、入居者の協力を得て、住宅環境を維持していきたい。

地下水保全やゲリラ豪雨の排水被害対策の一助に「雨水浸透枳」の推奨を！」

Q 近年多発するゲリラ豪雨の被害縮小や地下水保全に有効な浸透枳だが、大型ビニールハウス・大型建物・一般住宅等の雨水排水の現状や、浸透枳の設置基準はないのか。

A 農業ハウスは新設の際、国・県の補助事業を活用して浸透枳設置をお願いしている。一般住宅には補助金はない。

Q 水の都と言いつつながら地下水保全・再生への取組が無いのは恥ずかしいと思うが。

A 水資源の涵養は島原市にとっても、必要な考え方であることは共有できる。

島原市の未来を担う子供たちの「定期・子ども議会」の創設と、自由に使える予算の確保を

Q 本市の未来を担う子供たちの意見を市政に反映すべき。子ども議会設置はどうか。

A 小・中学生が行政に関心を持ち、市民としての自覚が生まれると考える。課題は日程調整、内容の充実など。

Q 子ども議会に子供たちが自由に活用できる一定予算の確保はどうか。

A 子供目線で年間通してどんな課題があるのか、また、年間スケジュールもあるのでは教委とも意義を共有しないとできない。



公明党
まつざき こうだい
松崎 広大 議員

男性職員の育休取得状況

Q 本市職員の育休取得の状況と、取得率向上への今後の見解は。

A 昨年度は、男性1人、女性6人が取得。産後8週間の期間内に男性が取得できる「産後パパ育休」を1人が取得している。配偶者の産休や育児参加休暇等の制度を周知し取得促進を図ってきた。今後も周知に努め、仕事と育児の両立ができるバランスのとれた環境づくりに努めていきたい。

いづれでも通園制度

Q 本市の未就園児の状況と見解は。

A 未就園児は、0〜2歳児が33.4%、3〜5歳児が1.7%。0〜2歳児が低い理由は、本市は待機児童がなく育児休業の利用も増え、1歳までは家庭保育を実施している家庭が多いためと考える。

Q 「いづれでも通園制度」と子育て支援に対する市の見解は。

A 国の「いづれでも通園制度」は評価している。各所で実施している就労要件を問わない一時預かり事業も周知していきたい。子育て支援センター等にも保育士を配置しており、子育てに不安を抱える親にも活用してほしい。

島原市ゼロカーボンシティ宣言

Q 宣言の内容や取組は。

A 2050年に温室効果ガス等の排出量を実質ゼロを目指し、4月に宣言。長崎総合科学大学との連携協定で水素エネルギー活用等の事業に着手。また、達成に向け国の補助金を活用した計画を策定し、施策を実施していきたい。たしろ号のEV化やEV車の給電施設の設置にも取り組むたい。

Q 市民や地元企業等との連携も必要では。

A 産学官連携も重要だと認識。調査事業も実施しており、本市の特性に合わせた目標達成に向け、施策案も検討していく。